

VoiceOver 操作 資料2 音声入力の方法と記号等

姫路デジタルサポート

2021年8月4日

音声入力は、特に長文を入力する場合には役立ちますので、事前に頭の中で文章を整理しておくことが大切です。また、短い文や単語でも大いに音声入力を利用し、キーボードによる文字入力の困難性を補っていきましょう。

(1) 音声入力の方法

□ 音声入力の開始と終了

テキストフィールドをダブルタップすると、キーボードが現れます。キーボードが表示されている状態で音声入力が可能となります。

- ・まず、テキストフィールドの挿入ポイントを確認します。
- ・2本指のダブルタップで音声入力が始まります。
- ・入力すべき文を音声で話します。
- ・2本指のダブルタップで音声入力を終了します。

なお、近くの人声も入力されることがありますので、静かな環境で行います。

□ 漢字の誤変換の防止

最近の音声認識の精度は年々改善され、新聞やニュースなどの文章を音声で入力するとほとんど間違いがありません。しかし、固有名詞や単語だけの入力では漢字の誤変換が生じます。

固有名詞や単語の場合、次の方法で誤変換のない漢字変換が可能です。

□「音声入力+削除」法

この方法は、Next Vision のラウンジで、井上直也さんが紹介されていた方法です。間違いのない少し長い目の単語等を音声入力し、その後余分なものを「削除」キーで消すというものです。

例えば、タケダという名前を入力する場合、「武田」と「竹田」の2つの漢字が考えられます。

- ・武田を入力する場合、「たけだやくひん」と音声入力し、「薬品」の2文字を削除キーで削除します。
- ・竹田を入力する場合、「たけやぶ」と音声入力し、「藪」の1文字を削除します。
さらに「たはた」と入力し、「畑」の1文字を削除します。

次に、大分県に「臼杵市」という市がありますが、「うすきし」と音声入力すると、「薄木」と変換されます。

- ・「臼杵市」を入力する場合、「おおいたけんうすきし」と入力すると、「大分県臼杵市」と変換されますので、「大分県」を削除します。

□ 発音方法

「武士」を入力するため、「ブシ」と早く発音すると、「節（季節のフシ）」に変換されます。一方、「ブウシ」とブを少し長く発音すると、「武士（戦国時代のブシ）」に変換されます。発音の仕方やイントネーションでも変換が異なるものと思います。そのコツを掴むことが大切かも知れません。

多くの人が音声入力は使い物にならないと言っていますが、音声入力の誤認識の事例を研究することによって、かなりの使い物になるかも知れません。

(2) 句読点、記号の入力とその呼び方

次のを使用して、別のページに移動します。

□ 句読点

- ・呼び方： 句読点
- ・マル： 「。」
- ・点： 「、」
- ・改行： 改行される。
- ・タブキー： スペースが挿入される。

□ 記号

- ・開きカッコ、または、閉じカッコ： （ または ）
- ・鍵カッコ、または、鍵カッコ閉じ： 「 または 」
- ・コロン： 「：」
- ・セミコロン： 「；」
- ・びっくりマーク： 「！」
- ・クエスチョンマーク： 「？」
- ・中黒： 「・」
- ・スラッシュ： 「/」
- ・アットマーク： 「@」
- ・ドット： 「.」
- ・円記号： 「¥」
- ・ニコニコマーク： 「☺」
- ・ウイंक： 「；ー）」
- ・ハッシュタグ： #